



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2023-24 クラブテーマ 気づき、ひらめき、ひろげよう



2023. 9. 25

秋の旬例会 於:きふね

No.2462

No.10



会長挨拶
三条南ロータリークラブ
会 長
熊倉 高志

本日は秋の旬例会で加茂のきふねさんにお邪魔しています。親睦委員会の皆さん準備ありがとうございます。

前回のあいさつで家康のはなしをしました。

徳川と言えば葵のご紋。小京都加茂に葵中、葵の地名があります。これは青海神社の社紋の双葉葵からきているそうです。

糸魚川のとりに青海の地名がありますが、こちらの読みは“おうみ”ですが、こちらの神社は“あおみ”と読みます。創建は726年と古く、京都の上賀茂・下鴨神社から御分霊されたとあります。因みに越後一宮の弥彦神社の創建は紀元前392年だそうです。徳川の三つ葉葵も賀茂神社の神領であったことから、松平は氏子であったとのことでした。

また海岸から離れているのに青い海とは何故この名になったのでしょうか。田上から保内・井栗一帯を治めていた青海首一族の青海郷からという説があるようです。平安時代以前は、信濃川流域は時には海のようになり、人が住むには難しかったのかもしれない。

会場：

日本料理 貴布禰（きふね）
加茂市穀町 10-4



◆本日の出席：41 名中 28 名

◆本日のオブザーバー：

米山奨学生 ファンティ チュナンさん

ニコニコボックス

9/25 22,000円 本年度累計 167,000円

熊倉会長「本日はきふねさんで秋の夜長を楽しみましょう」
吉沢幹事「本日は秋の旬例会、きふねさんの料理を楽しみにしております」

渡辺和君「“初きふね”です。楽しみにしています」

横山君「きふねでの例会楽しみます」

木村君「加茂市での例会は久しぶりですので、楽しみです。設営お疲れさまでした」

田代君、松崎君

「親睦委員会の皆様、設営ありがとうございました」

西潟君「ラグビー・ワールドカップの戦いを見ていて思うことは、各国のフォワードの力強さです。あの頑強な体型に圧倒されます」

藤田君「バレーボール日本VSブラジル、負けましたが良いゲームでした」

坂井君、大溪君、野崎君、銅冶君、星野君、佐々木君、
田中君、塩入君、永桶君、関君、峰嶋君、中村君

「BOXに協力します」

太田君「BOXにご協力ありがとうございました」



（熊倉高志会長）

例会あいさつのあと、懇親会挨拶ということでみなさん乾杯が待ち遠しいと思います。

先程は加茂の歴史のかなり古いのはなしをしました。もう少し、最近のはなしとして、かのスティーブ・ジョブズが訪れた禅寺がこの近くにあることをご存じですか。

彼の“ZEN”の師匠は乙川弘文といって、ここから少し奥の方にある耕泰寺に訪れたようです。弘文さんは川向の定光寺の出身だそうです。機会がありましたら、それぞれ禅寺のお庭も覗いてはいかがでしょうか。

禅寺と庭の関係もまた話したいと思います。加茂の歴史に浸りながら、秋の夜長を楽しみましょう。



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー（スコットランド）

第2560地区ガバナー 米山 忠俊（三条北）

第4分区分ガバナー補佐 小出 和子（三条東）

会 長 熊倉 高志

幹 事 吉沢 栄一

SAA 田中 康之

事務局

〒955-8666 三条市町 2-5-10

三条信用金庫本店内

TEL 0256-35-3477

FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL https://www.sanjo-minami.jp



「きふねへようこそ」
佐藤康夫加茂RC会長より
御挨拶いただきました



乾杯は在籍 51 年
最長在籍の西巻克郎さん



名調子、司会は加藤一芳
親睦・プログラム委員長



中締めは在籍 5 か月
最新会員の中村靖さん





📅 10月のお祝い

✦ 会員誕生

渡辺俊明君
永桶俊一君

✦ 配偶者誕生

熊倉高志君ご夫人
大溪秀夫君ご夫人

✦ 結婚記念日

渡辺俊明君ご夫妻
野崎正明君ご夫妻
銅冶康之君ご夫妻
西巻克郎君ご夫妻
荒澤威彦君ご夫妻
田代徳太郎君ご夫妻



おめでとうございます

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第3 ロータリアン一人一人が、個人としてまた事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること